

第9号
2006
11月

秋田げんき情報誌

かがやき

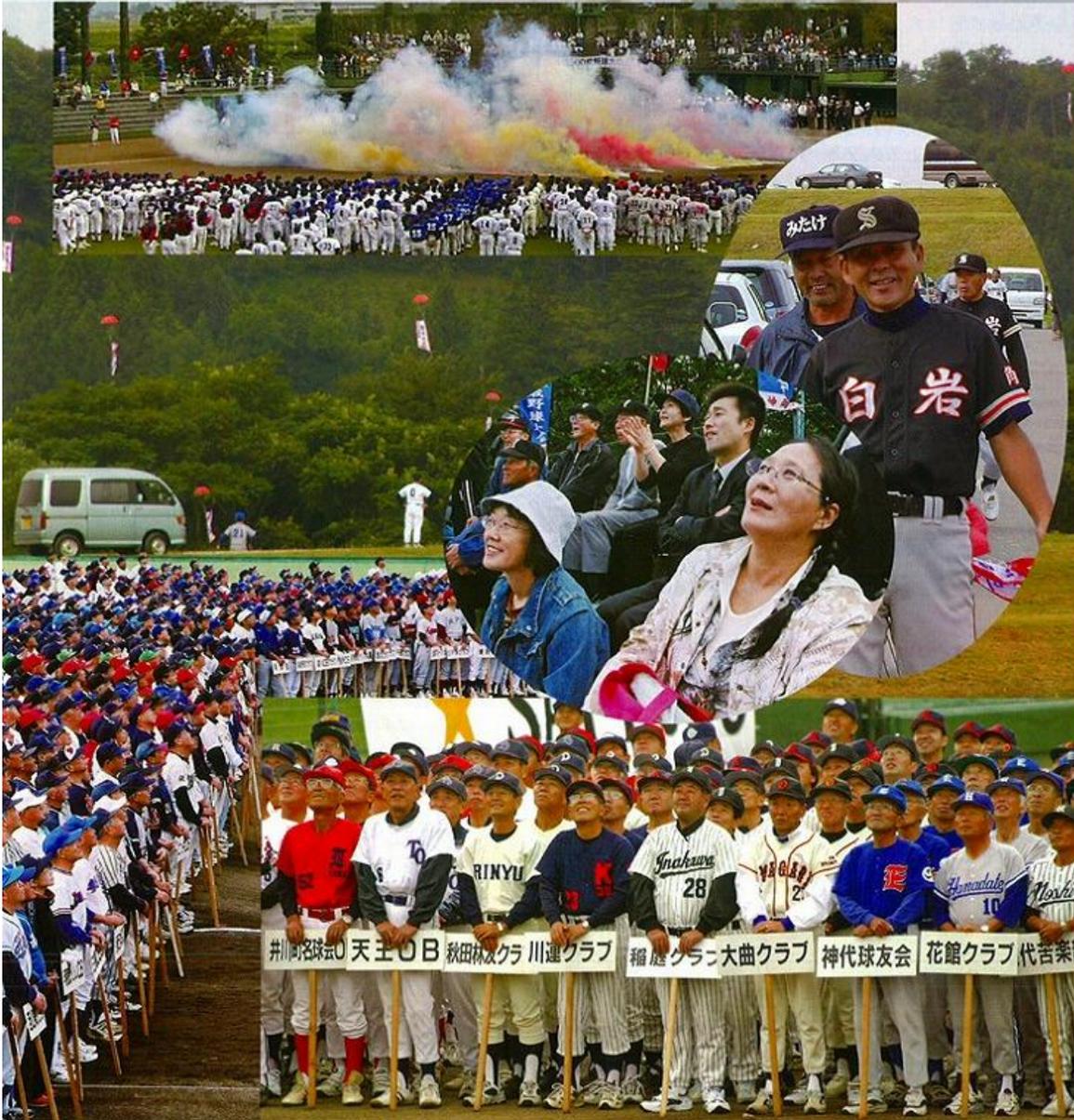


感動をわかちあう花火を求め

株式会社 北日本花火興業

大仙市神宮寺下金鷲320
TEL0187-7212205

500歳野球の開会式。今年は何んな花火を打ち上げて皆さんをお迎えしようかな?と考えている時が一番ワクワクしますね。歴代優勝チームの名のついた「残月」を打ち上げるようになったのは二十五回大会からです。昔から秋田の花火は、お祭りに因んで「残月」花火を打ち上げる風習がありました。今では規制が厳しくなり、神岡球場のような広い場所では打ち上げる事が出来ません。野球と同じく「いつまでも、童心を忘れずに持ち続けていたきたい。」との思いを込め、感動の花火で500歳野球の皆様をお迎えしたいを思っています。
(専務・今野義和さん)



全国選抜還暦軟式野球大会 秋田県で開催される



第8回全日本選抜還暦軟式野球大会が9月1日から4日まで秋田県を会場に行われました。1日、北海道から九州までの44の還暦チーム（総勢1100余名）が八橋硬式野球場に集い、開会式を行いました。地元秋田県からは大館グリーンクラブ・横手クラブ・オール大潟・角館クラブ・比内クラブの5チームが出場し、地元を代表して横手クラブの伊藤政象主将が選手宣誓を務めました。2日からは秋田市内5球場、潟上市内2球場の計7球場で熱戦が繰り広げられました。



アトラクションの卒灯に拍手



選手も指し手に挑戦！



秋田代表最後の砦として準々決勝へ勝ち進んだ角館クラブ。京都の強豪・桂高校クラブの猛攻に必死に反撃するもかなわず。高橋猪八郎監督は「全国はやっぱ強い!! うちらが力不足だった。しかし500歳野球では頂点を目指します!!」とコメント、思いは早くも500歳大会へと向いています。

- 2回戦**
対 南足柄野球クラブ (神奈川県)
3-0
- 3回戦**
対 あおもりシーホース (青森県)
7-7 (抽選勝ち)
- 4回戦**
対 桂高校クラブ (京都府)
4-20 (コールドゲーム)

見事ベスト8入り!
角館クラブ



堂々の入場行進

この大会に過去2回出場している大館グリーンクラブは、2回戦から出場。相手は準優勝の経験を持つ還暦野球ひたちなかクラブ（茨城）。拮抗した展開でむかえた3回裏、ひたちなかクラブは適時打で2点を先取、4回裏にも5点を上げます。粘る大館グリーンクラブは6回裏にランニングホームランを放ち一矢を報いますが、7回裏は3人で攻撃を終了し3回戦進出はなりませんでした。

大館グリーンクラブ・夢散る。。

横手クラブ・優勝候補を撃破するも

1回戦	対 オール太田還暦野球クラブ（群馬県）	12-10
2回戦	対 郡山オールドボーイズ（福島県）	6-2
3回戦	対 朋友倶楽部（東京都）	3-7

1回戦で優勝候補筆頭と謳われたオール太田還暦野球クラブ（群馬県）を撃破し、3回戦は今大会優勝の朋友倶楽部（東京都）と激突。善戦するも準々決勝進出はかないませんでした。



優勝候補・オール太田還暦野球クラブと対戦

比内クラブ・新たな気持ちで。。

向浜野球場にて行われたこの試合、主力選手が不在の比内クラブは投打に精彩を欠き、この大会3度目の出場となる室蘭さすががアクターズに12対0の5回コールドで破れました。比内クラブ・北村投手は「（室蘭は）打撃力が全然違う。今日の試合を反省し16日からの500歳大会は新たな気持ちで臨みたい。」と表情を引き締めていました。



試合を終えて選手同士を握手する選手たち

オール大潟・序盤の失点に涙

1回戦、倉吉ニューファイターズに乱打戦の末13対9と敗れたオール大潟・鈴木隆二監督「今回で4回目の出場となります。過去1勝2敗の成績で、是非もう1勝というところで週3回の練習をこなしてきたが、チャンスを活かせなかった事や投手陣の立ち上がりに難があり残念なことをしました。」とコメント、序盤の失点に悔いが残る試合だったようです。



試合を前にエールを交わす倉吉・有山主将と大潟・田口主将（写真右）

3度目の正直。 朋友倶楽部が優勝

決勝では一昨年・昨年と準優勝に泣いた朋友倶楽部（東京代表）が、全日本選手権で優勝経験のある強豪・日立球友クラブ（茨城代表）を9対4で抑え、悲願の優勝を成し遂げました。朋友倶楽部・原監督は「3度目の正直で優勝することが出来ました。昨年準優勝で、猛練習した結果だと思えます。出場できなかった選手を含めて全員の勝利だと思えます」と、本当に念願の優勝旗を手にした嬉しさで一杯の様子でした。



原監督を肩上げ・朋友倶楽部

- 優勝
- 朋友倶楽部（東京都）
- 準優勝
- 日立球友クラブ（茨城県）
- ベスト8
- 岐阜クラブ（岐阜）
- 阿久比ブラチナクラブ（愛知）
- 仙台ブルースターズ（宮城）
- 角館クラブ（秋田）
- 桂高校クラブ（京都）
- 室蘭さすががアクターズ（北海道）



第24回全県540歳野球大会

平成18年8月19～20日
男鹿市宮球場・若美中央公園球場 16チーム参加

決勝戦は二連覇を目指す角館クラブと、二回目の出場で初優勝を目指す若美OB会との対戦。初回から三回まで両者ともランナーは出すものの得点に結びつかぬまま4回の表をむかえます。若美OB会ランナーは二番武田選手、三番戸嶋選手がレフトオーバーの2ランホームランを放ち先制。その裏角館クラブも一点を上げ、最後まで食い下がりを見せましたが、あと一歩の所で二連覇ならず。若美OB会初優勝をもち取りました。おめでとう！



一回戦・飯田川球友会VS原本OBで二塁に二本の満塁ホームランを放った飯田川球友会のキャッチャー・門間選手

選手宣誓、昨年度優勝の角館クラブ・佐々木功選手



すべての大会の結果は別紙をご参照下さい。

野球と聞けば

どろぼうも参上。

今日も

どろぼう

狙い撃ち！

み



第15回能代500歳野球大会

平成18年9月3・10日
能代市民球場・落合第一球場 14チーム参加

準決勝、能代実業団VS能代中和は7対7でジャンケン勝負にもつれ込みました。大人になつてから、こんなにジャンケンで盛り上がることもあるのでしょうか！（写真）見事能代中和がチームワークを活かし、勝利を手中に収めます。続く能代愛球クラブとの決勝でも、逆転タイムリーや相手のエラー・ホームランなど強運を掴み、見事9対4の大差で優勝を決めました。



第12回横手市500歳野球大会

平成18年8月19日
横手市山内小・中グラウンド 17チーム参加

第12回横手市500歳野球大会を制した七度目の優勝・横手クラブ。三連覇は一・二・三回大会に次いで二度目です。昨年と同じ金沢孔城クラブとの決勝戦では、毎回得点で9点を上げ難く勝利をモノにしました。

昨年に引き続き、二度目の準優勝に輝きました金沢孔城クラブ。「昨年は10対1だったが今年は9対1、ひとつ成長した」と爆笑のベンチです。浦部監督の読み通り、高橋富雄投手の三振（左下写真）で幕切れ、反省会の香にされました。



体温と同じほどの気温の中、選手として審判として頑張る山内杜氏の大将選手。

第8回 還暦野球大潟村大会



最高殊勲選手賞・林敏雄選手（写真右）
最優秀選手賞・荒川要悦選手（写真左）

平成18年8月26～27日
大潟村民球場 9チーム参加
初回、活発な攻撃を見せた五城目OBが八郎湯セイルズ打線を見事完封、優勝の栄誉に輝きました。



それはそれはとても気持ちの良いお天気でした。（閉会式）

第12回 還暦野球角間川大会



50歳大会とは違うユニフォームでした。一味変わった雰囲気の中、クラブでした。

平成18年9月30日
親水グラウンド・角間川小グラウンド 8チーム参加

毎年同じチームが集まるこの大会、去年は雨で流れてしまったため二年ぶりの顔合わせとなりました。「楽しんで試合ができるところがいい。この後の懇親会も楽しみ。」
今回からA・Bブロック各4チームに分かれて試合が行われ、A中仙クラブ、B角館クラブが優勝しました。

試合後場所を移して行われた閉会式は、その後行われる懇親会の「練習」をしている人たちの熱気もあって盛り上がりを見せました。総勢80余名が参加した懇親会、好きな野球と楽しい仲間を香に大いにお酒もすすんでいました。



第2回 元木山選抜スリーパーマスターズ540野球大会



平成18年10月8～9日
潟上市元木山球場・大久保小学校グラウンド 11チーム参加

台風の影響で順延となった同大会、初日8日の朝も低気圧の影響で時折雨足も強くなり、試合の進行も危ぶまれました。が、選手たちは何のその！「こんなコンディションの時に強いチームもあるものだ。足元が悪くて慎重になる分、無理しないから怪我もしない。」主催の潟上昭和愛球会のメンバーはグラウンドに溜まった雨水と格闘!! 地元企業他の協力で今年新調したばかりの旗が嬉しく音をたてて大会の開催をお知らせしました。



準決勝、中道クラブVS五城目OB 体当たりでの激突あるプレー（でも、気をつけて）

第2回 585歳保戸野野球大会



平成18年10月15日
保戸野小グラウンド・上北出運動広場 5チーム参加

どのチームにお話を伺っても「若手が少ない。チームの高齢化が課題」という言葉が返ってきましたが、保戸野野球のピッチャー・成田選手（68歳）、キャッチャー・児玉選手（69歳）のバッテリーの強肩ぶりや、牛島OBの小松選手（74歳）のはつらつとしたプレーなど、皆さん年齢を感じさせない活躍を見せてくれました。チームの若手の方たちも尊敬のまなざしで見えていますよ！試合結果は5チームとも見事に1勝1敗（驚）。得失点差で明徳OBクラブが優勝しました。天候の為予定より一週間遅れましたが、秋晴れに笑顔が映える楽しい大会でした。



第28回 全県500歳野球大会

始まる！

第28回全県500歳野球大会抽選会
 日時 8月24日(木)午後2時
 会場 秋田市文化会館小ホール
 主催 全県500歳野球大会実行委員会
 (秋田県新報社・大仙市)

8月24日、秋田市文化会館にて第28回全県500歳野球大会の組み合わせ抽選会が行われました。今年は昨年より4チーム多い史上最多の162チーム！毎年更新を重ねます。今大会からは新たにベスト4以上が表彰されることになり(昨年末までは2位まで)、3位2チームにも賞状と副賞が授与されること。ますます気合が入ります。

対戦相手も決まり、もうすぐ本番！元気に球場でお会いしましょう！

大仙市神岡支所長・鈴木三郎氏
 「全市を挙げて大会成功に向けて頑張る。花火と共に市の二大行事として位置付けている。」
 大会委員長の秋田魁新報社・仁部正志氏
 「体調万全に配慮し、楽しく厳しく目標達成に向かって頑張ってください。」



注目の1番・選手宣誓の番号を引いた港OBチーム。



グットマナー賞 おめでとう！

前年の大会でマナーの良かった3チームに送られました。

*受賞のコメント

こゑに野球クラブ (上小阿仁村)
 「賞に恥じぬよう、今後ますます精進していきます。」

藤木クラブ (大仙市)
 「500歳野球を愛してこれからも頑張ります。」

鳥海球友会 (由利本荘市)
 「10年目の節目に受賞、末永く楽しみながら頂点をめざします。」



何故受賞できたのかわからない??というながら層と大きな副賞を受け取る、こゑに野球クラブ(上小阿仁村)伊藤喜佐男監督(副賞の中身は何だったのかな?)

万が一に備えて… かがやき編集部 救命講習受講

9月上旬、かがやき編集部は500歳野球を間近に控え、また救急医療週間にちなみ、大曲仙北広域消防本部・神岡分署さんにおじゃまして講習を受けてまいりました。取材で各球場を飛んで歩く私たち取材班は、怪我や体調不良の選手を見かける事もめずらしくありません。万が一、命に関わる場面に出くわす可能性も…。「そんなとき、少しでもお役に立てたら」との想いから、かねてより希望していた救命講習を受けたというわけ。心肺蘇生法・大出血時の止血法・異物の除去法・骨折に対する応急手当などを学び、『普通救命講習修了証』を頂いてきました。

大会期間中若干の怪我人は出たようですが、幸いにも救命措置をとらなければならぬ事態には遭遇しませんでした。(ホッ！)

今シーズンの野球は終了しましたが、冬の生活もじゆうぶん気をつけてくださいね。





開

会式

9月16日午前7時
神岡球場



5回連続出場した80歳以上の選手を表彰する高齢者特別表彰・佐々木満賞



選手宣誓

『年齢を忘れつつも、自分の体力をわきまえて...』500歳

野球大会ならではの特別なフレーズも盛り込まれるなど、開会式に素敵な花を添えてくれました。

を務めた桜庭直秋選手(港OB)。
過去3回の優勝を誇る強豪クラブの主



(写真・左)菅原忠幸(浅内ク)
(写真・右)仙北谷宇一郎(新屋日新)

仙北谷宇一郎さん
『今年で80歳の引退になりますが、来年からは応援団として頑張るつもりです。46歳から80歳という今まで44年間、日新クラブでお世話になって来ました。この度、最後というわけではないですが一回戦突破しなければ、うめ～酒飲まれねえ～からがらそのつもりががんばります』



(写真・左)鈴木喜一郎(岩見三内)
(写真・右)佐藤幸一郎(オール楯)



伊藤与之助(船越プライムズ)



(写真・左)今 成幸(湯城ク)
(写真・中)本間忠四郎(大曲ク)
(写真・右)秋山光雄(牛島OB)



(写真・左)加藤春作(横手朝倉)
(写真・右)田近一義(和田ク)



(写真・左)高堂英吉(秋田千秋)
(写真・中)桂 幸男(雄物川OB)
(写真・右)井上啓三(雄物川OB)



※小野三郎(山内杜氏・本誌11Pでご紹介)

田近一義さん
『今年で28回目の大会となりましたが、私たち和田クラブは、よーいドンから(8チームで始まった時から)お世話になっております。私自身も27回目の出場ですが、大先輩の力とその指導に助けられ今日まで一年の休みも無くこうして出席させていただいております』

4、000人余りが集う巨大な大会の今年の主役は、高齢者特別表彰を受けられた14名のつわもの達。

《敬称略》



【最高殊勲選手賞・
打撃賞】
泉谷元久選手
(秋銀ク)

【最優秀投手賞】
豊沢 明選手
(秋銀ク)

【首位打者賞】
笹山 大誠選手
(秋銀ク)

【オールスター賞】
八代 弘三選手
(秋銀ク)

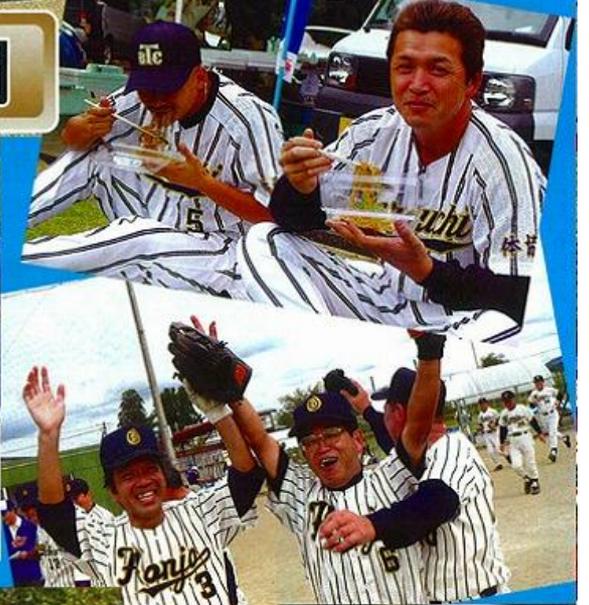
【最優秀新人賞】
小松 武選手
(秋銀ク)

二連覇 秋銀クラブ

永遠の球児たちの5日間



三位 横手クラブ

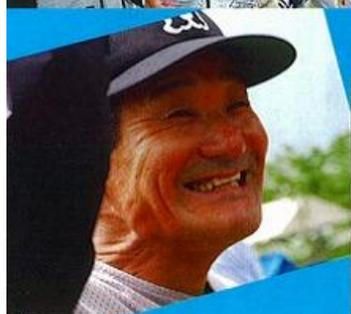
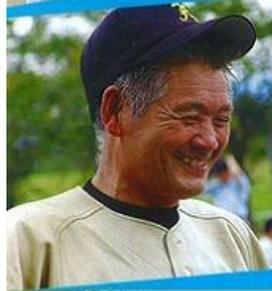




三位 八郎潟セイルズ



準優勝 比内クラブ



●病気を乗り越えて

横手中央クラブOBの横見守明投手は1年前に心臓の手術を受け、短期間のうちに野球が出来るまでに復活！「プロテクタの為、胸の辺りに投げにくさも感じるが、それに慣れるように頑張りたい。昨年も登録していましたが、今年が事実上の初出場です。無理せずマイペースで続けられるよう頑張ってください！」(二日目の神岡球場でも頑張っていました！)



●頑張れ！僕らの監督

太平健康広場にかわいい応援団が殺到！牛島OBのピッチャー吉田敏雄選手(58)が牛島小学校の野球スボ少の監督ということに、監督を応援する為に団員&保護者がたくさん駆けつけました。試合は頼もしい応援の成果もあって吉田選手も投打に活躍、「子供たちの前で恥かかずヨカッタ……」って聞こえたよな……



●嬉しい誕生日プレゼント……

『大会初日の16日は主人の誕生日でした。今年からチームの仲間入りをし、一日目勝負が出来て良いプレゼントをいただきました。勝ち負けにこだわらず、昨日のようにリラックスして頑張っていました。』(秋田林友クラブ・高橋里司選手の奥様)



●新人審判・工藤晃義さん

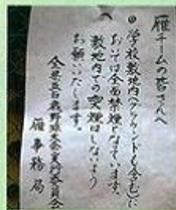
工藤さんは去年まで大仙市北楯岡小学校で野球スボ少の監督をしていました。その教え子達が出来たにも審判になるかと思つた。審判デビューはドキドキだったそうです。将来はこの500歳野球に出場するのが夢！いつか球場で審判をしながら選手としても活躍している工藤さんに会える日が来るかもしれませんね。



**500歳
バラエティ
NEWS**

●規則は守ります!!

全県500歳野球は全部で11会場。その内学校を使っている球場は5会場。大会規則上、学校内の敷地内では喫煙をしないでください。と定められています。2年ぶりに参加した雁チームでは、禁煙の意識を高めるためにベンチの横に自分達で作成した張り紙を！



●白球捕るも白星逃す!

中川原球場では、能代OBチームの練習ボールが球場横の沼にポチャリ！慌てて3人程の選手がボールを捕ろうしますが四苦八苦。500歳大会ののぼり旗の柄を使っても届かず、本部の特製網でやっと捕らえニッコリしましたが、残念ながら試合の方は追分野球クラブから白星が取れず負けてしまいました。



●おかえりなさい 増田OB

ユニフォームも一新、3年ぶりの出場で堂々の入場は増田OB、15回目の出場です。増田中学校が17年ぶりに全県大会出場を果たし500歳チームも負けじと試合に臨みますが残念ながら初戦敗退です。しかし初参加の選手も多く、嬉しい復帰となったことでしょう。来年は是非復活後の初白星を勝ち取ってください!



●六郷アローズ 来年のお楽しみ!

部長の隣塚順之助さんは大正15年9月21日生まれの79歳、あと1週間後に大会が行われていたら今年80歳表彰を受賞していたはず。来年まで頑張らなければならなくなつたなあハハハ……矢尾監督、石田主将など教員時代の教え子さんらに慕われて現在も野球を楽しんでいる姿はとほほ輝いています。来年開会式で元気にお会いできますよう楽しみにしています!!



— 大会記念DVD —
2枚組み ¥5,000
(Disk1単品 ¥3,000)
(Disk2単品 ¥3,000)
VHSテープも同価格で販売いたします。(内容やパッケージは予告なく変更される場合があります)
完全予約販売

第28回全県500歳野球大会DVD
～永遠の球児たち～

第28回大会を余すところなく振り返ります。
Disk1には、開会式をノーカットで!
Disk2には、様々な話題とチームの横顔を網羅しました。

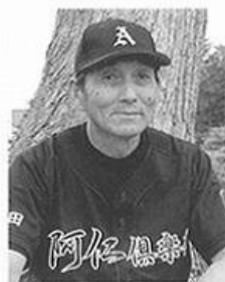
全県500歳野球大会主管
大仙市野球連盟 神岡支部



支部長	佐藤 尋美
副支部長	鈴木 寛治
"	斉藤 憲治
理事長	伊藤 久郎
副理事長	鈴木 七郎
事務局長	石山 康雄

少年野球発祥の地 神岡町

新監督に聞く！ 初出場チーム編



阿仁倶楽部

(北秋田市)

田中 総一 監督

《試合前のコメント》

『春から練習して初めての試合です。一生懸命やっつて勝とうという気持ちです。相手もあることですし、まず1勝したい。』

須川OBクラブ(湯沢市)を破り、初出場で唯一初戦突破を果たしました。



イースタンブレッツ

(秋田市)

鎌田 芳弘 監督

《試合前のコメント》

『この度、野球好きが集まって終わってから酒を飲むという形でチームを結成しました。この有意義な大会に出してもらえ、これを非常に楽しみにしております。今日は勝ち負けに関係なく頑張りたいと思います。よろしくお願いします。』



大正寺OB野球クラブ

(秋田市)

浅野 栄一 監督

《試合後のコメント》

『今日は全員野球で向かいました。最後、裏目に出してしまいました。初出場にしては最高の出来でした。また来年も頑張りたいと思います。』



豊祥岱クラブ

(能代市)

塚本 幸男 監督

《試合後のコメント》

『相手は戦前から強いチームと聞いていました。しかし試合は勝ちも、負けもしません。結果的にジャンケンで負けてしまいましたが悔いはなく、楽しく試合する事ができました。来年も是非参加し今度は初戦突破して美味しいお酒を飲みたいと思います。』

前回、かがやき7号で紹介した本荘倶楽部(由利本荘市)は雄物川笑顔(横手市)と対戦。残念ながら初戦敗退となりました。

我が人生……。野球と共に！ ⑤

山内杜氏チーム 小野 三郎氏

おめでとう80歳

横手市500歳野球大会で会場となった山内中グラウンドを仕切る山内杜氏チームの中に、今年の全県500歳野球大会で高齢者特別表彰(80歳以上で5年連続出場)を受ける選手がいました。部長の小野三郎選手(80歳)です。炎天下のグラウンドで「会場チームだもの、いくらでも若いモンの役に立ちたいと思って」とボールボーイを買って出ます。地元ダムの管理をしながら山内体協OBチームからずっと野球に関わってきました。12年前、有志で500歳チームの「山内杜氏」を立ち上げたときも「健康維持と若い人達との交流の為」と中心となって尽力、しかし「自分は歳稼ぎの部員として協力してきただけだ」と謙遜します。

全県500歳野球大会当日、出場四千余名の選手が見守る中、小野さんはじめ14名の方々が80歳とは思われないう軽快な走りでの整列、凛々しく表彰を受けられました。

「チームの皆のおかげで受賞することができた。皆、80歳になったからといって引退するのではなく、これからも一緒に活動しようと言ってくれたので、是非続けて行きたい。」



先日、大会の後にお祝いをしてくれたチームのメンバーから、納会を兼ねて改めて祝賀会を催してくれるという連絡が入ったそうです。小野さんは、又皆に会えるのを心待ちにしている様子でした。

また来年も、元気にグラウンドでお会いできること楽しみにしています！

10周年おめでとう！

ナイスミドルOB



高橋監督より「チームを結成して10年になります。球納として紅白試合をした後、一寸した食事をするので、写真を撮ってもらえないだろうか？」と遠慮きみに電話をいただき、さっそく11月3日、会場の岩城ウエルサンピアにお邪魔しました。試合の時はいつも厳しい表情の皆さんも、今日はばかりは小春日和に誘われて和やかな表情で、早速グラウンドに出て念入りなストレッチ。その後、紅白試合をしました。紅白試合があふれ笑い声が絶えませんでした。

温泉で汗を流した後、一寸した食事会？どころか10周年にふさわしい祝賀会！かがやき編集部ではお祝いに、昨年の全県500歳野球大会で同チームの準優勝をDVDで再現。大変喜んでいただきました。お酒も思いのほか進み、和やかな中にも新たな一歩を踏み出した祝賀会となりました。更なる活躍を期待します！

500歳野球誕生のキツカケ④

大仙市野球連盟神岡支部 理事長 伊藤久氏

全県500歳野球大会育成に大きな足跡を残した故藤井公廣氏にスポットを当ててみます。

藤井氏は第一回大会より第二十回大会まで秋田魁新報社事業局と二人三脚で二十年間大会副委員長として今日の大盛況の礎を作り上げた方で、神岡町町議会議員(後に議長)、防犯協会会長、体育協会会長、野球連盟会長、畜産団体役員ととにかく町の発展に尽くされた方です。

特筆すべきは、昭和四十年代後半、五十年代前半には町の野球行事が廃れ、小・中学校大会以外の一般の野球行事は皆無で、「このままでは、野球の町神宮寺」が忘れ去られる」と強い危機感を持ち、神宮寺野球復活を願っている人でありました。昭和五十二年に前連盟を発展的解消し現在の連盟を立ち上げ、直ちに町長杯野球大会を実施され、今でもお盆で帰省する人々が地元チームに入りプレイしたり、同級生がチーム編成したり楽しい野球大会として継続されており。また、小・中・高で全県的、全国的に活躍された児童生徒に体育賞を創設され子供たちにも大きな夢を与えてくれました。

藤井氏は懇親会・反省会の出席率100パーセントの方で各種会議後の席も数多くこなし、大農家でしたので

その分奥様は大変ご難儀された事といます。大会期間中雨天時には自家用トラックで砂の運搬、トラクターで球場整備など、いつも先頭に立っていました。いくら多忙の中でも打ち合わせ・会議等には時を守る方で、時を無駄にしないことなど無言のうちに大切な事を学びました。

自家用車には、スーツ・Yシャツ・ネクタイなど揃えており、ダンディかつ人間味溢れた人でした。当時の秋田魁新報社の伊藤瀬事業局長とは波長が合い、度々本部席からスーッといなくなり山菜採りや温泉巡りなどされ、事務局が慌てて探した事もあり、今はよき思い出のひとつであります。



おはよう野球チーム・大浦クラブ監督時代の藤井氏(40代後半の頃)



また来シーズン！
元気に球場での再会を誓う

10月15日・仙北市角館東小球場
角館クラブ・田沢湖駒陽クラブ・神
代球友会・西木クラブ、合同球納め



今年は新たに
西木クラブが参
加。各チーム2
試合ずつの交流
試合を和やかに
こなし今年も無
事シーズンを終
えました。

試合の後はいよいよお楽しみ会の懇親
会。当番チーム角館クラブ・石川選手
が一年を締めくくり挨拶。「今日の試合
を見ると、この中で来年の全県大会の



がんばれ！角館クラブ



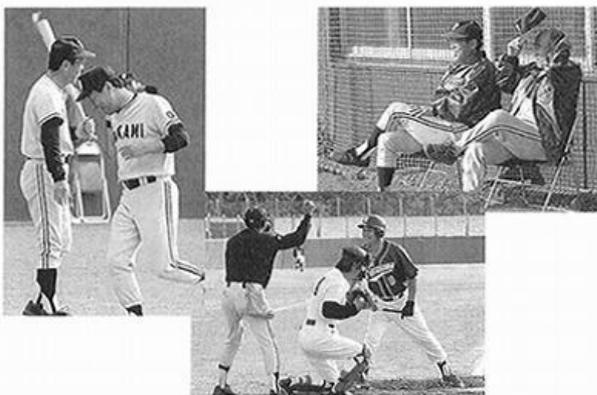
村井好道 税理士事務所

秋田県仙北市角館町上新町49番地
電話 0187-53-2044

決勝に残るようなチームは無いよう
すが、「」の言葉に場内は大爆笑！怪我
もなく無事に今シーズンを終えた喜び
を分かち、また来年にむけて皆が元気
で再会できるよう誓って秋の夜は更け
てゆきました。

10月22日・若美中央公園球場
若美BO会・船越プライムズ・船川B
O・脇本OB野球クラブ、球納試合

いつもは真剣な眼差しで厳しい表情
が多い選手の皆さんですが、この日は
紅葉も見頃を迎え、うらかな秋の日
差しのようになごやかな表情で、勝敗
にこだわることなく本当に野球を楽し
んでいるようでした。
勿論！その後の楽しみはモット盛り上
がった事でしょう！



第3回東北生涯野球大会

青森県むつ市運動公園野球場 他
平成18年10月14・15日
東北4県より8チーム参加



秋田市500歳野球リーグ（別紙
参照）の優勝・準優勝による代表決
定戦により、本県より秋銀クラブと
大住クラブの2チームが同大会に出
場。見事秋銀クラブが二連覇を達成
大住クラブが準優勝を飾りました。
第一回大会では大住クラブが、第二
回大会では秋銀クラブがそれぞれ優
勝し、さらに今年の結果を踏まえ本
県の野球熱・レベルの高さに、大会
関係者・他県選手は脱帽だったそう
です！大会は両日快晴。最高の野球
日和の中、県境を越え選手の交流も
深まったようでした。

来年は岩
手県盛岡市
で開催を予
定している
そうです。
（かがやき
編集部も越
境取材して
みようかな
…）
（ネタ元・秋銀ク 佐藤様）



Mr. ジャッジマン

(南秋支部／潟上市審判部)



今年の春に、飯田川地区・天王地区・昭和地区が合併して誕生した秋田県野球協会審判部南秋支部／潟上市野球審判部(53名)を統括する大野清視審判部長に第二回元木山選抜540スーパーマスターズの会場でお話を伺いました。

主な活動としては、冬季間に南秋支部として二回の講習会が実施されます。それを受け南秋支部の講習会に参加できなかった審判員の方にしっかりと内容を伝達する為、五月には潟上市野球審判部としてもう一度講習会を実施し確実なレベルアップが図られています。

『潟上市審判部』としては、南秋支部管轄の各大会(東日本・高松宮・おはよう等)に審判員を派遣、単独では潟上市長杯・540大会、中学校3、高校1、小学校7の練習試合を受け持っています。現在抱える問題として、平成19年に開催されるわか杉国体以降、内野連が南秋支部と潟上支部に別れる可能性があり審判部を



第二回元木山選抜540スーパーマスターズで頑張る審判部の方々

☆かがやきいつも楽しみにしております。これからも我々の情報誌としてがんばってください。(秋田市男性)

☆いつも楽しく拝見しております。迫力のある写真、インタビューなど地域に密着した紙面構成は全国に誇れる内容です。(男鹿市男性)

かがやき 掲示板

☆このようなカラーの素晴らしい情報誌があることは知りませんでした。たまたま行った大曲の広域交流センターで見つけ、さらにプレゼントクイズまで載っているのので一部だけ見て来ました。写真がたくさんで見やすいです。(大仙市女性)

☆情報誌がしっかりしているし、写真やコメントも読み易い。さすが野球好きの秋田を支えている情報誌だと感心。他府県の連盟にも知らせてあげたい機関紙です。(千葉県男性)

編集後記

今年の全県500歳野球大会は雨の日が多かったにもかかわらず、順延になることなく予定通り終わることが出来ました。選手の方々にあたたかさは5日間だったでしょうか? 私たちがやき取材班にとっては、去年よりも選手の方々に気軽に声をかけてもらえることが多くなって、とても嬉しい5日間でした。そして10月16日発行の大仙市の広報でも紹介していただいて、とてもありがたかったです。普段取材することが多い私達は、取材されることに慣れていないためドキドキ! いろんなふうにならなくていいかとも楽しんでいました。かがやきを読んでくれる人達もこんなふうにならなくていいかとも楽しんでいました。(三)



かがやき! 大住クラブ

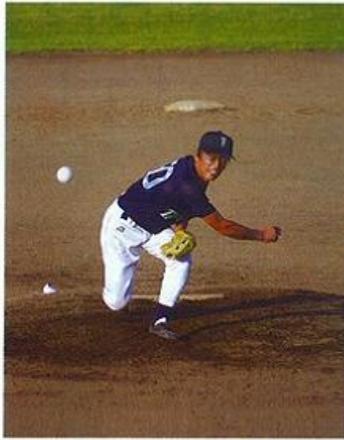
板金工事・屋根工事・看板金属文字・建築板金一式
 平成15年度 秋田の名工
 有限会社 杉本板金
 代表取締役 杉本 捷生
 〒010-1435 秋田市仁井田湯中町5-26 TEL.018-839-1407・FAX.018-839-1836

かがやきトピックス

パート2

第28回全県450歳野球大会

平成18年8月26～28日
大館樹海ドーム他 32チーム参加



本大会、二度目の栄冠を手にした鷹巣クラブ。この大会、5試合で57得点を挙げた鷹巣クラブは、準決勝の高清水戦以外終始安定感のある試合運びを見せました。自慢の打線が長打を量産、守っても戸嶋投手を軸に堅守で盛り立てます。

決勝戦では、接戦を勝ちあがってきた大館MC投手陣を粉砕、毎回得点とはならなかったものの19得点を挙げる圧巻の勝利でした。

試合後自らもチームの核頭として打撃陣を牽引した成田勝監督は、『去年悔しい負け方をして、今年は1点を取って1点を守るという目標を掲げやってきました。チームメイト皆のがんばりで優勝することができました。これから500歳野球大会もあるので、もうひとつ精進してがんばりたいと思います』と話してくれました。(…が、その全県500歳野球大会では、450の準々決勝10-0で勝った比内クラブと5回戦で対戦し16-18で敗退。残念!)

第9回全県選抜600歳野球大会

平成18年10月5～6日
由利本荘市岩城球場他5会場 20チーム参加

今年は昨年より4チーム・一会場増え、20チームが5会場にわかれ、初日はカッパの部、二日目はエンジョイの部で野球を楽しみました。『生涯野球を愛した人生にふさわしい懇親の場にするために、野球のゲームはもとより、初日は同一会場(ウエルサンピア秋田)に一泊し、全員で懇親会を行い、人生謳歌の球宴とする』趣旨で行われています(開催要項より)。

初日、試合を終えウエルサンピア岩城でひとつ風呂浴びて汗を流し、浴衣に着替えて、世にも珍しい浴衣での野球の開会式です。

「この大会はすべてのチームにカッパやトロフィーがあって、出場の軌跡が手に取るようにわかるのが嬉しい。この年は優勝したとか何位だったとか、後で皆でワイワイやりながら飲むのが面白いんだよ。」



二日目、全県選抜600歳野球大会はあいにくの雨となりましたが、野球大好き少年達(?)にとっては少しも苦にならないようです。
「昔、一度だけ合羽着て長靴はいて試合したことがあったなあ。」

「ええ〜〜〜!! 試合ですかあ?!」
さすがにこの日は合羽を脱いで試合に臨んでいました。

「病気を患ってからチームの応援にまわっています。これでも昔は、チームのリーディングヒッターだったんですよ」船越プライムズ応援参加の清水さん(70歳)。



まちがい探し

今回は「間違い探し」のコーナーで、間違いのないエリアを1つ選んで下さい。正解した方の中から抽選で、癒し系の「あくあくん」(小さなボトル水槽に、小魚と水草の小さな自然)を3名様にプレゼントいたします。



A	B	C
D	E	F
G	H	I



★応募のきまり

- 応募の締め切り 3月31日必着
- 応募方法 官製はがきまたはFAXに、①答え ②住所 ③氏名 ④野球関係者は所属チーム名など ⑤本誌の感想 ⑥その他(ご意見・ご希望)をお書きの上、
〒019-1701 秋田県大仙市神宮寺字荒屋17-4
FAX 0187-72-2731
かがやき編集部 プレゼント係 までお送りください。

★当選発表・発送

次号「かがやき10号」にて掲載し、発送いたします。

当選者発表

かがやき7号クロスワードパズル

答え サインボール

当選者・岡田 富子様(大仙市)・笠野 修司様(千葉県)
・鈴木 浩充様(大仙市)・武藤 一様(男鹿市)
他、匿名1名様

サッポロビール「ドラフトワン」をプレゼントいたします。

「かがやき8号」全県500歳野球大会の優勝チームを予想するコーナーでは、残念ながら当選者はいませんでした。

牛島OB野球クラブ
(秋田市)

感動ありがとう。



東北醤油株式会社・大仙市 神宮寺
TEL0187-72-2020(代) <http://www.touhoku-syouyu.co.jp/>

好球必打

